
フェアリーテイル《最響伝説》

S o u L

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

フェアリーテイル《最響伝説》

【Nコード】

N3596M

【作者名】

S O U L

【あらすじ】

天才魔導士マリカ

生まれ持った才能

生まれ持った良い環境

そんなマリカが向かったのは

魔導士ギルド《フェアリーテイル》

第1話へフェアリーテイル

今ここに…新たな伝説が始まる…。

マリカside

今日、おじいちゃんが話をつけてくれた、憧れの魔導士ギルド《フェアリーテイル（妖精の尻尾）》に行ける。

私は炎と氷の造形魔導士。

炎と氷と、2つを得意とするのは珍しいらしい。

「ついたー。」

重い荷物を両手にギルドの前に立つ。

「……ん？誰かしら。ギルドの前に…。」

「おー！！新しい仲間か！？」

「…え？」

そこにいたのはサーモンピンクの色をした髪にノースリーブとマフラーといった季節がごっちゃになったやつと

セミロングのクリーム色に近い金髪にナイスバディな女の子。
それになぜか上半身裸のちょっと格好いい人と

紅いロングの髪に鎧をきた女の人がいた。

…あ。あと、羽（？）が付いた……猫？

「誰だ？お前。新しいやつか？」

鎧女（失礼だ。）が近づいてきた。なにげにこわあい。

「え……。あ。はいっ。マリカって言います。」

するとサーモンピンクを（ちよっ）始めとする4人と1匹が自己紹介をした。

「へえ。お前マリカってゆうのか……。俺ナツ!!」

「俺はグレイ。」

「私はエルザだ。」

「それで、私はルーシィだよ。最後にハッピー。」

「あい!!」

サーモンピンクがナツで上半身裸がグレイ。

鎧女がエルザで、ナイスバディな可愛い女の子がルーシィね。（真

島ヒロ先生様すみません!!)

ちなみに私はロングのクリーム色に紫のメッシュ。

顔立ちはよく整ってるって言われる。

「てかなんで突っ立ってるんだ？マリカ！！入ろっぜ！！」

ナツがギルドのドアを開けた。

「おーナツ。マリカちゃん連れてきたのかー。」

「オーナー？やっぱり新しい仲間なの？」

「そーじゃよ。ルーシィ。わしの親友の孫じゃ。」

見渡す限り、フェアリーテイルのみんなは個性が凄そう。

でも、みんな良い人そう…。見た目だけけどね？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3596m/>

フェアリーテイル《最響伝説》

2010年10月10日16時12分発行